

年 度 評 価 シ ー ト

課名 交通政策課

施設の名称 静岡ヘリポート	指定管理者名 公益財団法人静岡市まちづくり公社
1 履行状況	
平成31年4月26日付け提出された事業報告書の確認し、令和元年5月27日にヒアリング調査した結果、協定書の事業計画に基づき、業務が適正に履行されていることを確認した。	
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）	
<p>地元住民からのヘリコプターの事故に対する不安に対し、電話やメールで丁寧に回答し不安解消に努めていた。また、地元の伝統行事への協力、懇談会などで直接住民との交流を図り、意見・要望等を聞くようにしている。</p> <p>利用者からの時間外フライトの要望に対しては、人命にかかわる救助や全国的に影響のあるニュースの場合以外、基本的に時間外利用を認めていないことから、的確に判断したうえで対処している。以上のことから、良好な対応をしていると評価できる。</p>	
3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価	
<p>静岡ヘリポート常駐会社へアンケート調査したところ、約9割の会社から「利用のしやすい施設」との評価を得られた。</p> <p>また、ヘリポート祭りの参加者等に対してアンケート調査した結果、約9割から「楽しかった」という回答を得ることができた。なお、来場者の約5割が初めて祭りに参加しており事前の周知の効果が伺える。</p> <p>以上の結果から、良好に事業を実施していると評価できる。</p>	
4 指定管理者の経理状況の評価	
平成30年度の収支状況としては、予算の範囲内で執行されており、過大な支出超過もないことからおおむね良好であると評価できる。	
5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）	
前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
<p>平成30年度の総括的な評価としては、事業計画に基づく業務を的確に実施していると言える。利用者及び地元住民の安全を守るためにもヘリポート運用の基本となる航空灯火、電気設備、消火設備など各種点検、監査を実施しノータム、事故の発生無く運用した。また、ヘリポート管理事務職員7名中6名が応急手当普及員及び5名が防火管理者の資格を保持しており、緊急時の初動対応の向上に努めている。住民からの苦情等にも迅速に対処し、地元の役員と懇談会を実施するなどして、住民と良好な関係を築いている。</p> <p>26回目となったヘリポート祭りについても、空港の安全管理強化を実施し、積極的な宣伝広報活動及び独自の工夫によって、約3,700人の来場者で賑わった。地域住民との交流や市民に静岡ヘリポートを知り、理解を深めていただくための良い機会としている。</p> <p>以上の結果、運営上特に問題もないことから、平成30年度の静岡ヘリポートの管</p>	

理全般について良好であったと評価できる。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。